

みんなでつくる ミライの学び舎

牧之原市義務教育学校施設整備
基本構想・基本計画を
策定しました Vol.1

市では、市立小学校8校、中学校2校を再編して、新たに1年生から9年生までを一貫して育てることができる「義務教育学校」を2校つくります。

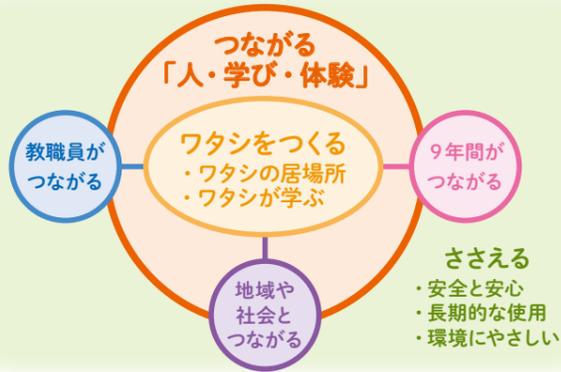
1月末に策定された「牧之原市義務教育学校施設整備基本構想・基本計画」（以下「基本構想・基本計画」という。）は、新しくつくる学校施設の整備に係る基本的な考え方を示すものです。この「基本構想・基本計画」の内容について、2回に分けてお伝えしていきます。

問い合わせ 学校再編推進室 鈴木宏洋 ☎32640

整備方針

整備方針は、コンセプトと施設の計画を結ぶもので、コンセプトの検討過程で出された、両地域に共通する大事にしたい思いや機能などのキーワードをつなげたものです。

- 1 ワタシをつくる
- 2 つながる「人・学び・体験」
- 3 ささえる



基本計画（抜粋）

基本計画は、整備方針をより具体化した考え方を定めるものです。

つながる「人・学び・体験」

1. 9年間がつながる

▶ ゆとりある広さの普通教室やオープンスペース、可動間仕切りなどにより、活動範囲を柔軟に変更できるつくりとします。

▶ 複数学年が別々に使用できるように、大きさや仕様が異なるグラウンド・体育館・武道場を整備します。



▶ 学校図書館や多目的ルームなど、子ども同士が日常的に交流できる空間と仕組みをつくりとします。

2. 教職員がつながる

▶ 職員室は1つとし、職員や専門スタッフなどの執務スペース、打ち合わせがしやすい広さを確保します。

▶ さまざまな会議に対応できる会議室や相談室、職員コーナーなどを整備します。

3. 地域や社会とつながる

▶ 地域と学校の共育を推進するため、コミュニティスクール（CS）の活動拠点となる地域活動室（CSルーム）、農園・花壇などを整備します。

▶ 校舎内に放課後児童クラブを設置します。

▶ 体育館やグラウンド、武道場を地域の人が利用できるようにします。特別教室も将来的に地域の人々が利用できるように配置します。

ワタシをつくる

1. ワタシの居場所

▶ 居心地が良い場所をつくり、ワクワクする空間やしかけを工夫します。

▶ 快適な室内環境を確保し、開放感のある空間とします。

▶ 内装などに積極的に木材を活用します。

▶ 感染症・熱中症対策を図ります。

2. ワタシが学ぶ

▶ 誰もが安全で移動しやすい建物と敷地、動線とします。

▶ 全館空調・Wi-Fiや半屋外空間、学校図書館など、いつでもどこでも学べる施設とします。

▶ 多様な子どもに対応した、だれでも学べる施設とします。



ささえる

1. 安全と安心

▶ 立地と建物の安全性を確保します。

▶ 見通しが良く、死角となる場所ができてにくいような配置や動線とし、防犯カメラを適切に配置します。

▶ 地域の災害拠点となる施設とします。

2. 長期的な使用

▶ 維持管理しやすく長期的に使用できる施設とします。

▶ 将来的な社会や学びの変化に柔軟に対応できるよう、可変性の高い鉄骨造とし、可動間仕切りの採用や部屋の共用使用などによる汎用性の高いつくりとします。

3. 環境にやさしい

▶ 脱炭素社会に配慮した施設とします。

コンセプト

コンセプトは、学校施設をつくるにあたり大切にしたい考え方をみんなで共有するとともに、機能や使い方などを考える際によりどころとなるものです。

令和3年度に策定された「学校再編計画」の目指す学校像「みんなの学校」を共通コンセプトとし、そこに相良・榛原両地域が大切にしたいことを表現しています。

相良地域

夢につながる みんなの学校

ワタシをつくるスタートラインとして、教職員、保護者、地域がみんなで子どもの主体性やこころざしを育てることにより、子どもの夢の実現につなげることができるような学校とする。



榛原地域

地域と共に わくわく学び・体験できる みんなの学校

子どもがやりたいことにチャレンジできる環境を整え、学びや体験、人とのつながりにより子どものこころざしを育てる。個性や多様性が尊重される中で、子どもが地域の人たちと共に、楽しくわくわくするような多様な学びや体験ができる学校とする。



エリアと動線の考え方

施設の使いやすさや子どもの安全性確保のため、施設を（仮称）「普通教室エリア」「管理エリア」「地域開放エリア」に分けます。

また、動線は「子どもの教育活動のしやすさ」を第一に、「教職員の管理のしやすさ」「地域利用のしやすさ」の順に考えます。

普通教室エリア

普通教室、特別支援学級関係室などを置く。

管理エリア

校長室、事務室、職員室、保健室などを置く。

地域開放エリア

外部の人が入ることができ、部屋などを共用して使用できるエリア。

体育館、武道場、地域活動室などのほか、将来的に地域開放する可能性を視野に入れ、特別教室なども置く。

次号では、学校敷地と配置の考え方、これまでの検討のながれ、今後のスケジュール、開校に向けての取り組みなどについて掲載する予定です。検討過程の詳細や基本構想・基本計画の内容は、右の2次元コードから市ホームページでご覧いただけます。



市ホームページ